

環境パフォーマンスデータ(2022.4.1~2023.3.31)

| INPUT | |
|------------------------|-----------|
| ガソリン (kL) | 19 |
| プロパン (m ³) | 186 |
| 資源 軽油 (kL) | 217 |
| A重油 (kL) | 84 |
| 電力 (kWh) | 1,557,136 |
| 工業用水 (m ³) | 0 |
| 受入れ廃棄物 (t) | 34,997 |
| ①産業廃棄物 (t) | 33,513 |
| 廃油 | 17,077 |
| 汚泥 | 11,662 |
| 廃酸 | 1,881 |
| 内 廃アルカリ | 1,593 |
| 訳 ばいじん | 338 |
| 廃プラスチック類 | 58 |
| 動植物性残渣 | 450 |
| 燃え殻 | 454 |
| ②船舶廃油(t) | 1,484 |
| ③原材料(原料油)(t) | 15,932 |

| OUTPUT | |
|--|--------|
| CO ₂ 排出量 (t-CO ₂) | 1,292 |
| 再資源化物出荷量 (RF) (t) | 49,781 |
| 産業廃棄物排出量 (t) | 354 |
| 再生残渣量 | 271 |
| 空容器量 | 83 |
| 廃プラスチック類 | 82 |
| 金属くず | 0 |
| 木くず | 0.2 |
| 内 紙くず | 0 |
| 訳 がれき類 | 0 |
| 繊維くず | 0 |
| ガラスくず | 0.5 |
| 有価金属くず (t) | 426 |

| RF 出荷量 (t) | |
|------------|--------|
| 2022年度 | 49,781 |
| 2021年度 | 53,718 |
| 2020年度 | 55,443 |

| リサイクル率 (%) | |
|------------|------|
| 2022年度 | 99.2 |
| 2021年度 | 99.0 |
| 2020年度 | 99.1 |

リサイクル率の計算式

$$\text{リサイクル率\%} = \frac{(\text{受入れ廃棄物量} - \text{空容器量}) - \text{再生残渣}}{\text{受入れ廃棄物量} - \text{空容器量}} \times 100$$

環境・安全衛生活動データ(2022.4.1~2023.3.31)

| 社会的課題との適合性 | 目的・目標 | 結果 | 評価 |
|------------------|--|-----------|----|
| 共存共栄 | 騒音・臭気等のクレーム：0件 | 0件 | ○ |
| 電力削減 | RF製造1t当たりの電力消費量の削減：28.0kWh/t | 28.2kWh/t | × |
| 水質・土壌汚染防止 | 雨水処理設備からの放流基準オーバー：0件 (Ph5.8以上~8.6以下、透視度500mm以上) | 0件 | ○ |
| | 漏洩事故：0件 | 1件 | × |
| 再資源化による天然資源の枯渇抑制 | RF 出荷量：55,000 t | 53,716 t | × |

| 項目 | 目的・目標 | 結果 | 評価 |
|----|-----------------|-------|----|
| 安全 | 事故・災害：0件 | 1件 | × |
| 衛生 | 健康個人目標の達成：85%以上 | 89.6% | ○ |
| 防災 | 異常反応時の防災訓練：1回/年 | 1回/年 | ○ |
| 交通 | 交通事故：0件 | 3件 | × |

※詳細は、当社ホームページのCSRレポートにて公開しています。

会社概要

名称：株式会社レックス九州

創立：2014年4月

所在地：<本社> 大分県臼杵市野津町大字都原字上坪906番地

TEL 0974-32-7721(代表) FAX 0974-32-7731

<津久見事業所> 大分県津久見市合ノ元町2-1 (太平洋セメント(株)大分工場内)

TEL 0972-82-9055(代表) FAX 0972-82-7025

資本金：5,000万円

従業員数：68名 (2023年10月時点・アルバイト含む・役員除く)

株主：株式会社レックス 100%

事業内容：産業廃棄物処理、再資源化事業、設備メンテナンス及び清掃、環境再生事業等

URL: <https://kyushu.re-cs.co.jp/> メール問い合わせ: kyushu-info@re-cs.co.jp



Re:CS九州 2023

2022年10月~2023年9月

企業理念

常に**感謝 Respect** の気持ちを忘れず
 高い志と意識で**挑戦 Challenge** し続ける
 分かりやすく**簡素 Simple** な事業を心掛け
 信頼される持続可能な社会づくりに貢献します

コンセプト

◇ 感謝 ◇ 誠実 ◇ 進化

スローガン

Beyond Kyushu

~ 考動し進化を続ける
 持続可能な会社を構築しよう ~

ご挨拶

弊社は、2023年4月に持株会社の組織再編により、「リマテック九州株式会社」から「株式会社レックス九州」へと社名変更いたしました。
 弊社は1988年に大分県臼杵市野津町に中間処理プラントを建設し事業を開始致しました。
 事業概要は、産業廃棄物処分業である「資源リサイクル事業」を基軸に、収集運搬事業・メンテナンス事業・環境修復事業等を行っています。これらの事業は、SDGsおよび地球温暖化対策へ通じる大事な役割も担っていると考えます。



株式会社レックス九州
代表取締役 矢野真一郎

事業対象エリアは、九州全域と四国及び中国地方の一部を含む広域であり、廃棄物に関わる、あらゆるご相談に適切にお応えできるよう、社員一同、日々スキルアップに努めています。廃棄物処理のことなら是非弊社へご相談ください。ご期待に応える解決策をご提案できると思います。

事業推進にあたっては、国際認証であるISO14001(環境マネジメントシステム)及び、ISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム)規格の認証をいち早く取得し、社是である「すべてのステークホルダーの皆様へ信頼され、地域との共存共栄を図りながら、地域に信頼され社会貢献できる会社を目指す」の実現のため社員一同研鑽に努めています。

結びに、社会を取り巻く情勢は、4年間と長かった新型コロナウイルス流行は終焉を迎えつつありますが、長引くロシアのウクライナ侵攻や、中近東地域の政情不安等の影響を受け、エネルギー分野の需給不均衡化や、慢性的な労働力不足等を発端として日本経済全体が混沌とした状況が続いていますが、お取引先様には弊社事業へのご理解と、ご協力を頂いていることに際しまして、衷心より御礼を申し上げます。今後も引き続き変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社レックス九州へ 商号変更 2023年4月1日

当社は、2023年4月1日よりレックスグループの一員となり、社名を「株式会社レックス九州」と改称しました。レックスグループは、今年度を第二創業元年と位置付け、2030年の私たちが目指す企業像であります、「日本の資源循環産業を代表する企業でありたい」という目標に向かい、グループ企業全体の組織を再編成し、GX(グリーン・トランスフォーメーション)を推進する脱炭素化事業を担うリマテックグループと産業廃棄物のリサイクルを推進する資源循環事業を担うレックスグループとに分け、この二本の柱でエコシステムを構築して行きたいと考えております。

全社員心も新たにさらなるサービスの向上と発展を期し、皆様に満足いただけますよう一意専心努力いたします。

2023年トピックス(2022年10月～2023年9月)

・吉四六の里スポーツ玉入れ大会

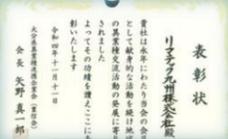
11月5日、野津地区振興協議会主催の「吉四六の里スポーツ玉入れ大会」が開催され、当社から有志5名が参加しました。3mの高さのカゴに100個の玉をどれだけ早く入れるかを競い合い、当社は1分15秒12のタイムで見事優勝しました。



玉入れ大会

・永年会員表彰

大分県異業種連携企業会(豊信会)の設立40周年記念祝賀会にて、永年会員表彰をいただきました。これからも異業種連携を通じて県経済の発展に貢献して参ります。



永年会員表彰

・全日本社会人卓球選手権大会県予選会

6月17日に「全日本社会人卓球選手権大会県予選会」が開催され、当社卓球部の4名が出場しました。結果は、ダブルス優勝、シングルスは1位と3位と日頃の練習の成果を発揮することが出来ました。うず巻き卓球クラブのコーチをはじめ、皆さんの暖かいご声援のお陰です。引き続き応援をよろしく申し上げます。



実業団卓球部

・紺綬褒章 受章

企業版ふるさと納税により、大阪府のスマートシニアライフ事業へ寄附した功績が評価され、紺綬褒章を受章しました。大阪府庁で行われた伝達式に代表取締役 矢野が出席し、坪田スマートシティ戦略部長より褒章を受領しました。



紺綬褒章受章

・おおいた歩得(あるとっく)

9月6日、大分県健康増進スマートフォンアプリ「おおいた歩得(あるとっく)」の職場対抗イベントにおいて、当社の「吉四六とおへま」グループが県内8位に入賞し、臼杵市の中部保健所にて、表彰式がおこなわれました。今後もウォーキング等健康増進に努めていきます。



おおいた歩得表彰

安全活動

～指差呼称定着に向けた取り組み～

・横断幕

スローガンならびに標語を社員に募集し、優秀作品を大屋根の下に横断幕として掲げています。



横断幕

・腕章

職場の安全推進委員には指差呼称リーダーの腕章を装着してもらい、模範を示すとともに士気を高めています。



リーダーの腕章

・朝体操後の指差呼称コール

従来から朝体操の締めで、タッチアンドコールを実践してきましたが、今回から、指差呼称(服装・安全靴チェック)のロールプレイングを取り入れ、最後にタッチアンドコールで締める事としました。これは役員を含め、当日工場にいる全社員で毎日実践しており、定着を目指しています。



指差呼称コール

新規事業開発

～産業廃棄物から高純度水素を製造・・・カーボンニュートラルへの挑戦～

当社は、2013年に廃棄物として受け入れた、金属粉末混入物と廃油の混合物から発生した水素ガスが原因で、爆発火災事故を起こした苦い経験があります。その時の教訓を基に、徹底した安全・品質管理のもと、産廃の中間処理工程で発生する可燃性ガスをクリーンエネルギーに再生し、無駄なく利活用できないか、また、地球温暖化対策に繋がる活動にできないかと考え、5年前から金属を含む産業廃棄物と、廃アルカリ溶液を混合した時に発生する副生水素ガスを回収し、高純度の水素ガスを精製・貯蔵する装置の研究開発に、大分県エネルギー産業企業会の支援もいただき取り組んでいます。

2023年度の事業としては、小規模反応炉2基で副生水素ガスを生成・除湿後に高純度水素ガス(99.999%)を製造する試作3号機製作と、実用化に向けた各種検証試験を行っています。また、各種課題を乗り越えるため、新たな地場企業との連携も図りながら、グリーン水素の製造プラントを完成させ、2050年には弊社の廃棄物中間処理設備で使用する一部の電力を、再生可能エネルギーで賄える体制の確立を目指しています。



開発中の実験プラント

CSR活動

社会奉仕活動の一環として、会社周辺の国道清掃や国道沿いの花壇の花植え、臼杵市からお預かりしている「共生の森」の管理を、CSRチーム員中心に社一丸となり行っています。この企業参画の森づくり活動は、2008年10月18日の植樹から今年で15年目となりました。



国道502号線の清掃



国道沿い花壇の整備



臼杵市共生の森管理

収集活動としては、アルミ缶・ペットボトルキャップ、ベルマーク、古切手を収集し、地域のこども園や社会福祉協議会等に寄付を行っております。社員全員で取り組み、2008年の活動開始から2023年3月末までに、車椅子1台(アルミ缶)、ワクチン168本分(キャップ)相当が集まりました。



ペットボトルキャップの収集



アルミ缶の収集



ベルマークの収集

| 古切手 | |
|-------------------------|----------|
| 今年度合計 | 0.404 kg |
| アルミ缶(800kg=車椅子1台) | |
| 今年度合計 | 77.74 kg |
| ベルマーク | |
| 今年度合計 | 994.6 点 |
| ペットボトルキャップ(4kgでワクチン1本分) | |
| 今年度合計 | 36.49 kg |
| ワクチン | 9 本分 |